

めざせ「いきいき 明治っ子」 ～ はきはき どんどん ぐんぐん ～

令和元年度 2学期の終わりにあたって

大きな行事がたくさんあって1年の中でいちばん長い2学期が終わります。運動や文化に関わる行事や各学年の校外学習、そして、毎日の教育活動で、子どもたちは経験を増やし、生き生きとした姿で大活躍し、自分たちの持っている力を伸ばしました。毎日元気に登校し、友達と協力しながら明るく元気に活動する明治っ子の姿を見ることは、私の心の支えになっていました。たくさんの保護者や地域の皆様から学校にお越しいただいたり、地域での活動のお手伝いをさせていただいたりして、とても充実した活動ができました。



4年生 そば打ち体験(大蒲生田にて)

残念ながら学期末にインフルエンザが流行し、休みを余儀なくされてしまいましたが、3学期は健康管理にさらに注意を払い、より充実した活動を目指してまいります。これからもいろいろなことに挑戦したり、一生懸命取り組んだり、いい習慣を身に付けたりしてほしいと願っています。

皆様からあたたかいご協力とご支援をいただいたことに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。来年も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

図書室をリニューアルしました

2学期末に、図書室をより過ごしやすい空間にするために、職員の手で本棚や机の位置を変えてみました。以前に比べ、読書意欲が高まるような、とても明るく居心地のいい雰囲気になりました。ぜひともたくさんの子どもたちが図書室を利用して、本に親しんでほしいと思います。保護者の皆様もご来校の際には、ぜひとも図書室に足を運んでください。

3学期のおおまかな予定

| | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1月 8日 (水) 始業式・集団下校 | 3月 4日 (水) 金管移杖式 |
| 23日 (木) くぶるまつり・フリー参観・PTA全体会 | 年度末PTA |
| 30,31日 (木・金) NRT学力検査 | 10日 (火) 6年生を送る会 |
| 2月 3日 (月) 豆まき | 12日 (木) 同窓会入会式 |
| 4日 (火) ウィンタースクール(予備日12日) | 23日 (月) 終業式 |
| 5日 (水) 6年生頸城中説明会 | 24日 (火) 卒業式 |
| 14日 (金) 移行学級 | 26日 (木) 離任式 |

12月28日(土)～1月5日(日)は年末年始休業で学校は無人化となります。
ご承知おきください。

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。



二学期終業式 校長講話

今学期は、9月に陸上競技大会、10月には校内マラソン大会、文化祭などの行事があり、それぞれみなさんの素晴らしい活躍や頑張りを目にする事が出来ました。そして、みなさんのがんばる姿に多くの人たちが大きな感動を味わうことができました。これからも精一杯の努力で自分の可能性に挑戦していきましょう。2学期末にあたり、もう一度自分たちの生活を振り返って、頑張ったところ、改善すべきところを考え、3学期の目標を立ててください。

ところで、『みなさんはなぜ勉強するのでしょうか？』

人間には、生まれながらにして「よくなりたい」、「向上したい」、「立派になりたい」、「ほめられたい」という欲求があります。「墮落したい」、「悪くなりたい」、「落ち込みたい」などと積極的に思う人はいません。何か大きな悩み事や苦しみがあったときに、なげやりになって、一時期そんな気持ちになることはあるかも知れませんが、それは本来の姿ではありません。ですから、勉強をするのは、「自分を高める」という欲求を満たすためでもあります。しかも、解けなかった問題の答えを導き出したり、難しい問題が分かったりすると気持ちがいいですね。



楽しく学ぶ 1年生の授業風景

また、小中学時代、あるいは高校時代に学ぶ知識は、一人一人の教養を作る上でとても大切です。社会で、普段生活する中で、学校の学習内容が直接的に役に立つということは、とても少なくなっています。しかし、あえてそうした少し程度の高い学問を学ぶ意味は、その知識が、教養となって人間の土台をつくっているからです。

海辺や砂場で砂山を作ったときに、できるだけ高い山を作り上げるには、富士山のように裾野の部分、土台の部分の大ききしないと、すぐに壊れてしまったり、崩れてしまったりする、ということを経験的に学んでいると思います。これと同じように、教養という土台は広ければ広いほど、自らが築いていく山は高くなっていくのです。

それから、別の観点から言えば、このように学習できる環境にいるということは、大変ありがたいことだということです。勉強したくてもできないという子どもたちは、世界中にたくさんいます。内乱や戦争のために、平和の中で勉強することができないという国もあります。学校がミサイルで壊れてしまったり、いつ銃弾に倒れたりすることになるか分からない状態でも、勉強しようと努力している人もいます。また、金銭的な問題で、学校で勉強することができない人も大勢います。小学校を卒業している人は50%に満たない国もたくさんあります。日本では、はるかに恵まれた中で勉強することができているのだということです。

学校生活ではいろいろな出来事が起こります。楽しいことばかりではなく、苦しいことも、悲しいこともあります。しかし、その中で、学校生活という一つの作品を仕上げさせていくのです。もちろん、学校生活は勉強ばかりではありません。友達と積極的に遊ぶことも、係や委員会などの活動を一生懸命やったり、学校行事で活躍したりすることもあります。友だちとの関係など、いろいろな経験を積みみます。このように学校生活は実に忙しいのですが、こうしたさまざまな経験を得られるのも、実は学生時代で終わりです。社会に出ると、仕事で忙しいことはあっても、全然分野の違ういろいろなことでの忙しさは、ほとんどなくなってしまいます。それに、タイムマネジメントとよばれる時間管理（忙しさや与えられた時間内でいかにこなしていくか）について、体験を通して学ぶことができるのも学生時代なのです。

社会に出たときに役に立つことを学校生活の中でたくさん学んでいきましょう。

それでは、交通事故などのない楽しい冬休みにしてくださいね。

学校は何よりもまず「知の伝承と開発の場」です。知を通して初めて創造力や規範意識は広がりをもつのです。そうした確かで伸びゆく知を備えた次世代が新しい社会を担っていくので、そこに教育の希望があります。知をおろそかにした教育は、教育ではないと私は思います。これからも学校・保護者・地域が一丸となって子どもたちの学ぶ意欲を育て、「知の伝承と開発」を進めていきましょう。